

ウェルカム  
茨城

Welcome Ibaraki

最先端育苗技術を取り入れ、高品質な苗を  
全国に供給

# ベルグアース株式会社

## 茨城農場（常陸大宮市）



東日本事業部 生産販売部長 若林 亮介 氏

### 新たなアグリビジネスのシステムづくりに貢献

ベルグアース株式会社（以下、ベルグアース）は、2001年（平成13年）愛媛県宇和島市の培土、苗、農産物を生産・販売している株式会社山口園芸から、研究開発部門、企画部門、販売部門を分社化して設立した会社です。特に、苗の生産に特化しており、トマトやキュウリ等の苗を育成、出荷しています。

従来、苗の生産や販売の管理は、手書きで帳簿に付ける手法が主流でしたが、ベルグアースでは、設立当初から管理システムの構築を図り、2003年（平成15年）には、これらのシステム化に成功しました。あわせてWEB受発注システムや種苗決済システム等の開発にも成功し、苗の育成・出荷業務全般にかかる作業効率の飛躍的な向上に大きく寄与しています。

2006年（平成18年）、高品質な苗の安定供給を可能にする、日本最大級の閉鎖型苗生産施設を建設しました。この施設では、外部環境から完全に隔離された空間で、光・温度・CO<sub>2</sub>・肥料・水等を人工的にコントロールし、最適な環境で苗を育てることができます。また、病害虫の侵入を最小限に抑えられることで、農薬使用量の減少に貢献するとともに、育成のスピードアップを可能にしています。

2011年（平成23年）JASDAQに上場し、現在では、茨城農場、長野農場、いわて花巻農場、松山農場の直営農場や連結子会社に加え、パートナー農場を全国に抱えており、生産者の近くで、よりきめ細かい対応ができる体制を構築しています。

### 野菜接ぎ木苗生産では日本No.1の シェアを誇る

ベルグアースでは、断根接ぎ木<sup>(\*)</sup> 苗という苗を生産しています。この苗は、おいしい果実を多く収穫できる植物と、丈夫で病気に強い植物をつなぎ合わせており、双方の長所を持ち合わせています。また、高い生産性を有しているため育てやすく、連作障害や病害虫に強い等の特徴もあります。

この接ぎ木の技術は、日本で誕生した技術です。ミリ単位で切断面の調整や、切断面の活着に繊細な養生技術が必要であり他社が参入しにくい点も強みとなっています。

ベルグアースでは、トマトやキュウリの他、ナス、メロン、ピーマン等の苗を、農家や大手種苗業者からのオーダーに対応して生産しており、その本数は年間3,400万本と接ぎ木のシェアでは日本No.1を誇っています。

さらに、閉鎖型苗生産施設により1年を通しての出荷が可能であり、全国各地の野菜産地やホームセンター等の量販店へと販路を拡大しています。

ベルグアースが出荷する苗は、環境にも配慮してい



常陸大宮市の茨城農場



出荷前の接ぎ木苗



アースストレート® 苗



ヌードメイク® 苗

ます。例えば「アースストレート® 苗」という苗は、根鉢を生分解性の不織布で包むことで、そのまま植えることを可能にしており、廃棄ポットが出ません。また「ヌードメイク® 苗」という苗では、断根接ぎ木後、土・トレイ・ポリ鉢等に植え込んでいない状態で出荷することで、コンパクトな輸送を可能にしており、輸送コストの大幅な削減を実現しています。

このように、ベルグアースでは、環境に配慮した高品質な苗を安定供給しており、他の苗生産業者より一歩進んだ事業を展開しています。

## 廃校の施設を活用した茨城農場

従来、ベルグアースでは、苗を宇和島市の本社から全国に出荷していました。しかし、四国からの出荷は、苗の鮮度維持や輸送コストの負担が大きいことから、東日本の商圏をカバーする苗育成拠点の設立が急務でした。

2007年（平成19年）には長野農場が完成、さらに、首都圏の大消費地に近い茨城県への進出も検討し、2012年（平成24年）、常陸大宮市に茨城農場が完成しました。

茨城農場は、約10年前に閉校した旧茨城県立大宮工業高等学校のグランド跡にあり、敷地面積3.3haと広大なながらも地盤は安定していることから、農場に最適な環境となっています。

茨城農場では、大屋根型鉄骨ハウスで接ぎ木苗の二次育苗をしており、茨城農場で育てられた苗の40%は茨城県内に出荷されています。従来よりも輸送時間の短縮が可能になったことで、苗の鮮度が維持されるといったメリットに加え、地元の取引先との友好的関係構築も図られています。

順調に見える茨城農場ですが、進出当初は地元での知名度が低く、人材確保に苦労したようです。現在では、茨城農場に勤務する約100名の従業員の内、80%が地域住民で占めるまでになり、さらには、毎年地元の学生を採用し続ける等、地域にとって貴重な就業の場となっています。

また、地元小学校の社会科見学を受け入れており、地域に根付いた活動も積極的に行っています。

## 魅力あるアグリビジネスを展開する

茨城県は、農産物出荷額が全国第2位であり、メロンやピーマン等、全国1位の出荷高を誇る農作物が多数ある国内有数の農業県です。一方で、茨城県の耕作放棄地の増加率は、全国平均を上回っている状況にあります（農林業センサスより）。耕作放棄地が増加する主な要因は、農業従事者の減少にあります。この問題を解決するためには、次世代の若者に農業を継承させること、生涯現役で働き続けることができる仕組みを構築することが求められます。

ベルグアースでは、野菜苗の生産・販売をコア事業に、種や培土等の農業資材の開発、資材メーカーや商社等の異業種との連携構築に留まらず、流通・加工・外食といった6次産業<sup>(\*)</sup>へ参入する等、事業領域の拡大を図っています。

この農業に関連する事業の多角化は、若者に就農を促し、かつ生涯現役の仕組みが構築される可能性を秘めています。これらの取組みにより、魅力あるアグリビジネスが構築され、ベルグアースが目指す“日本の農場の革命”の実現が期待されます。

\*1 断根接ぎ木…断根とは、老化した根を切り若く強い根を再生させる技術、接ぎ木とは、植物の一部を切り離し、別の植物とつなぎ合わせることで、新しい植物を生み出す技術。

\*2 6次産業…1次産業（農林漁業）、2次産業（製造業）、3次産業（小売業等）の事業との総合的かつ一体的な推進を図ることで、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出し、農山漁村の所得向上や雇用の確保を目指す取組みのこと。

### 会社概要

所在地	(本社) 愛媛県宇和島市津島町北灘甲 88-1 (工場) 茨城県常陸大宮市上村田 2003-2
業種	野菜苗の生産・販売業
従業員数	267名
代表取締役社長	山口 一彦
連絡先	(本 社) 0895-20-8231 (茨城農場) 0295-55-8677
U R L	<a href="http://www.bergearth.co.jp/">http://www.bergearth.co.jp/</a>